



題字：杭瀬福成園

あけまして おめでとうございます

あけましておめでとうございます。2025年は大阪・関西万博の盛り上がりとともに前号では福成会での新たな挑戦を紹介しました。2026年最初の「ふふふ」はお正月の「おせち」の具材の由来から各事業所の特色を紹介しています。お楽しみください。



写真：サポートセンターまつば

謹賀 新年

新年あけましておめでとうございます。

「2025年問題」「報復合戦」「大阪・関西万博」「米価格高騰」「追加関税」「戦後80年」「熱中症アラート」「総理辞任」2025年の世相を表すひと握りの言葉です。

「VUCA（ブーカ）な時代」という言葉を耳にするようになりました。VUCAとはVolatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）を並べた用語で先行きが不透明で将来の予測が困難な状態を差し、現代の政治、経済、軍事などの情勢を形容する言葉ですが、福祉や介護の現場もまたVUCAな状態と言えるそうです。

法人内に目を向けますと今年（令和8年度）は第7期マスタープランの最終年度で総点検とそれらを踏まえ次期マスタープランの構想の年です。「VUCAな時代」を生き抜けるよう法人一丸となって取り組んで参ります。本年もよろしくお願いします。

令和八年 一月 理事長 宮下 哲

アートdeふふふ

テーマ：うま



タイトル：馬
作者：清流園利用者
【清流園】



タイトル：牧場
作者：チャレンジ・コヤリバ利用者
【チャレンジ・コヤリバ】



タイトル：馬
作者：あいあい利用者
【あいあい】



タイトル：うま
作者：1班利用者
【サポートセンターまっぴば】

【塚口福成園】

就労継続支援B型と契約している企業向けに事業所見学会を実施しました。2つの企業の担当者に塚口福成園の事業所についての説明と実際の作業の様子を見ていただきました。作業の様子を見ていただく中で助言をいただいたり、新しい作業の提案があったり見学会を実施したことで得られることが多くありました。



工賃、
作業関係

重度
高齢化
支援



【サポートセンターまつば】

余暇時間にご自身の生い立ちの写真を見返し、懐かしい写真を眺めながら穏やかな表情で過ごされています。サポートセンターまつばでは、重度高齢化支援をおこなっています。これからおせち料理にある「海老」のように健やかに、笑顔があふれる日々とたくさんの思い出を重ねていきますように。



時間の
見直し

【あいあい】

次の予定開始の見直しを持つことが難しいAさん。以前までは、タイマーで開始時間をお伝えしていましたが、数字ではいつまで待てばいいかわからず、落ち着かない日々を過ごされていました。砂時計を使うことで、次の予定までの時間が視覚的に理解できるようになり、1日の中の一部ですが、安心して過ごすことができるようになりました。

将来の見通しが良い。断面にたくさんの穴が空いていることから「未来を見通せる」「将来の見通しが良くなるように」という意味があります。

えび

不老長寿。
曲がった腰と長いひびが「長寿」を象徴している。

れんこん



黒豆

まめに（勤勉に）働き、
まめに（丈夫で）元気に
暮らせるように。

栗きんとん

金運上昇。
金色の色彩が小判や
黄金を連想させることから、
商売繁盛、金運の象徴と
して考えられてきました。

田づくり(ごまめ)

豊作祈願。イワシが畑の肥料だったことから「田作り」「五万米」と呼ばれる。

【清流園】

清流園では、園庭で果物や野菜を育てています。今年は「スイカ」や「トマト」が豊作で、利用者と一緒に食べました「スイカを食べると、皆さん声をそろえて「美味しい!」と伝えてくださっています。スイカを取り分けている間、真剣な表情で待っていました。



豊作だった
もの

鯛

鯛は、恵比寿様が持っている魚ということから七福神信仰ともつながっており、「めでたい」と縁起の良い魚。



周年記念

【杭瀬福成園】

杭瀬福成園は30周年を迎え、利用者に感謝の思いを伝える30周年記念式をおこないました。今までに働かれていたスタッフの動画、実際に会場に来てくださった方との交流もあり、みなさまが楽しい雰囲気になっていました。また、オリジナルTシャツのプレゼントとお祝い弁当をご用意しました。みなさまの笑顔を見て、30年在り続けることができた喜びを感じました。



生活から
仕事まで

FVBT
今年も熱く
盛り上がり
ました!

9月23日(火)、ワールド記念ホールで開催された「バレーボール大会2025」に、福成会バレーボールチーム(FVBT)が今年も2チーム体制で参加しました!大会に向けては、他法人のチームと合同練習を重ね、チームワークもバッチリ。全13チームが参加した大会は、どの試合も手に汗握る展開で、会場は大盛り上がりでした。残念ながら表彰台には届きませんでしたが、練習の成果をしっかりと発揮できた、充実した1日となりました。大会後には、他法人のみなさんとの打ち上げも開催!試合の話で盛り上がりながら、楽しい時間を過ごしました。



各事業所からの『ふふふ』

清流園

最近、足を痛めているBさん。普段あまり2人で話さないCさんが心配してスタッフに「大丈夫かな?よくなるかな?歩けなくなったらどうしよう?」と気遣う姿がありました。その優しさが届いたのか、Bさんから笑顔が出る光景を見て「ふふふ」とほっこりしました。

あいあい

巨人ファンとして知られるFさんは、いつも笑顔でスタッフと野球の話をしてくださいます。阪神がリーグ優勝を決めた翌日、突然「今日から阪神を応援します!」と宣言。スタッフ一同「え〜!!?」と驚きましたが、数分後には「やっぱり巨人ファンはやめられないな〜」と笑顔で話すFさん。その言葉に、周囲も「そうだよね」とうなずき、ほっこりとした時間が流れました。

塚口福成園

事業所外活動での出来事。ホームのベンチに座って電車を待つことにしましたが座席が足りなく立っている利用者に対して他の利用者が「座りー」と席を譲っていました。また歩くのがゆっくりな利用者に声をかけながら一緒にペースを合わせて歩く利用者もいました。歩いて疲れている中での気遣いに心が温くなりました。

ぷちるぼ

10月に避難訓練をおこないました。訓練の様子を残そうとカメラを向けると数人が振り返って笑顔でピースサイン。「避難中ですよ〜」と声をかけ移動を続けていただきました。無事に外の駐車場に避難を終えたところで、再度カメラを向けるとまたまたピースサイン。真剣な避難の後は全員が集まって「避難訓練記念撮影会」となりました。

杭瀬福成園

休憩時間に動画を見ながら折り紙をされているEさん。折り方が難しいところはスタッフと折りながら飛行機や星などをつくって1つの瓶に入れて保管をしています。できた作品を瓶の中に入れた後に、その瓶を大切に両手で抱えて完成した作品を見つめているEさんの姿をみて「ふふふ」となりました。

サポートセンターまつば

利用者がスタッフと近くの公園までいきました。一緒に歩いているときから笑顔が見られ、「ブランコがしたいですか?」とたずねると、元気よくうなずかれました。ブランコをしている時には満面の笑み。事業所に帰ってきてから楽しかったことを話し、とても良い1日になりました。

チャレンジ・コヤリバ

スタッフが納品に行く同行者をどうするか話していると、いつもは自分の気持ちを言葉にするのが得意ではないGさんが「私がやりたいです」と発言。車中では「いろんな作業を頑張りたいです」と話され、意欲的に作業に取り組む姿をみせてくれました。そんな姿に暖かな空気を感じ、スタッフの頬をゆるめてくれました。



サポーター

福成会の募集

みなさまの「思い」や「優しさ」が、
利用者の「笑顔」と「安心」をつくります。

福成会では、障害者福祉のより一層の充実のため、個人、法人、団体のみなさまからの寄附金の受け付けをおこなっております。サポーターからの寄附金を財源の一部として、みなさまの思いを有意義に活かしていきたいと考えています。たくさんのサポートを心よりお願い申し上げます。

- 1 みなさまからのあたたかなサポートは、各事業所の備品購入や修繕、イベントの開催、車両や介護機器の購入など、利用者が笑顔で安心して過ごせるための環境整備や持続可能な法人経営のためにつかわせていただきます。
- 2 直接現金でのサポート以外に、オンラインサポート（クレジットカード決済）が可能となりました。ご負担の少ない低額（500円〜）を毎月サポートしていただく方法も準備しております。



※また、福成会へのサポート（寄附）については、寄附金控除を受けることができます。詳しくは福成会ホームページにある「サポーター募集」をご覧ください。

編集後記

福成会おせち、いかがでしたか?料理のひとつひとつに思いが込められているように各事業所のプログラム、行事、活動などにも、それぞれのテーマや目的、思いを持って実施しています。そんな出来事を今年も広報誌で紹介していきます。次の発行まで待てない、という方はホームページ・Instagramを随時更新しているのでそちらもご覧ください。

